

TOKYO COLLEGE

共に考える。未来のかたち Shaping a Shared Future Together

対話

YouTube
配信

著者と考える 「わたしが人間で あるために」

—米国と日本における 障がい者の公民権運動—

このイベントでは、障がい者の公民権運動に携わる
ジュディ・ヒューマン(著者)とマーク・ブックマン(東
京カレッジ)が、米国と日本におけるアクセシビリ
ティとインクルージョンの過去、現在、未来について
語り合います。建造環境、教育、雇用、エンタテインメ
ントなどのシステムにおける障壁(バリア)や、活動
家たちの運動や差別撤廃政策に触れながら、誰も排
除されない、より多様な社会の実現に向けた道筋を
明らかにします。

2022.6.24 (金)

17:00 以降視聴可能

コメンテーター

Mark BOOKMAN

ポストドクトラル・フェロー
東京カレッジ



障害者の公民権運動を闘った

あるために
人間で
わたしが

BEING
HEUMANN

AN UNREPENTANT MEMOIR OF A
DISABILITY RIGHTS ACTIVIST

ジュディス・ヒューマン(著)
クリステン・ジョイナー
曾田夏記(訳)

「私たち」の物語

差別と闘い続ける
今日までのライフストーリー。

現代書館

登壇者
著者



Judith
HEUMANN

障がい者運動の活動家

長きにわたり障がい者の権利擁護に尽力する活動家。世界
中の障がい者のインクルージョンを推進する法律(「米国障
害者法」や「国連障害者権利条約」など)の策定および実施に
向けた活動を牽引。

会場

東京カレッジ YouTube チャンネル

言語

英語(日本語同時通訳)

お問合せ

tokyo.college.event@tc.u-tokyo.ac.jp

配信アドレス



視聴は
こちらから



facebook



twitter



Newsletter

